

2017年3月23日  
一般社団法人) チャデモ協議会  
会長 志賀俊之

### 日独首脳によるハノーバー宣言に関するチャデモ協議会のコメント

3月20日に、安倍首相および独メルケル首相参加の下、「第四次産業革命に関する日独共同声明（ハノーバー宣言）」がドイツハノーバーにて発表されました。これは、過去の次官級声明を閣僚級に格上げするもので、その声明中には、自動車産業政策に関する協議の実施（充電インフラ協力）が含まれ、近々覚書（MOU）も発行される見込みとされております。電動車両分野に関しては、詳細報告「[電動モビリティ・自動運転・コネクテッドカー等に関する覚書](#)」の中で電動モビリティ、次世代充電システムに関し、ベストプラクティクスに関する情報交換を行うこと、企業や研究機関間の連携を促進すること、とあげられております。こうした両国政府の声明に対し、一社) チャデモ協議会として、以下をコメントさせていただきます。

- ・チャデモ協議会は、今回の日独首脳による声明（ハノーバー宣言）を歓迎いたします。
- ・チャデモ協議会は、現在も、日独政府間で進められている次世代充電規格協議に参加しており、その活動の成果と今後の方向性について考慮頂いた声明と理解しております。
- ・日独両国は、既に、電動車両ならびに充電インフラについて、技術とその普及の両面で世界をリードしている状況と認識しております。
- ・更に将来への次世代規格の議論と協調活動が進めば、日独両国のみならず、広く世界全体の電動車両と充電インフラユーザー様の利益になると期待します。
- ・現存する各種規格が進化しても、現在のユーザー様が使用中の車両、充電器をそのまま使い続けられる互換性についても、日独を中心に共同で実現していくべきと思います。
- ・まずは両国関係者が同じ目的を共有し、ユーザー様視点で、お互いを尊重し、同じテーブルに着いて議論を進めることがもっとも重要な第一歩であると信じております。
- ・当声明を受け、当会は3月末に日本で開催予定の日独次世代充電論議（Joint Technical Working Group）に参加し、技術的な今後の協調の可能性を論議する予定です。
- ・なお、今回示された次世代充電規格協議の第一歩として、弊協議会は近々高出力充電に関する技術発表を行なう予定です。

以上